

事務事業名	小笠原長清公顕彰会活動支援事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12361				
	□ 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	生涯学習担当	担当者名	山口 聡美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	06	040	15
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	南アルプス市社会教育団体補助金交付要綱 南アルプス市社会教育団体の登録認定に関する要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	小笠原長清公顕彰のため流鏝馬、礼法講座等を開催するための活動に対して補助金を交付する。			項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)		金額(千円)	
	H24年度実績	流鏝馬1回、礼法講座10回、基礎講座、臨地研修		協議会・協会・団体補助金		2,500				
	H25年度実績	流鏝馬1回、礼法講座10回、基礎講座、臨地研修								
	H26年度実績	流鏝馬1回、礼法講座10回、基礎講座、臨地研修							計	2,500

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
26年度活動内容	流鏝馬、小笠原流礼法講座等を開催し、市民に小笠原長清公を広く知ってもらおう。
27年度活動予定	流鏝馬、小笠原流礼法講座等を開催し、市民等に小笠原長清公を広く知ってもらおう。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 顕彰会会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
南アルプス市ゆかりの小笠原長清公に対する認知度の向上	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域文化が保存・継承される。	

⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位	
⇒	A 流鏝馬の開催回数	回	
	イ 礼法講座の開催回数	回	
⇒	ウ		
⇒		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位	
⇒	A 人口	人	
	イ 会員数	人	
⇒	ウ		
⇒		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位	
⇒	A 流鏝馬の参加者数	人	
	イ 礼法講座の参加者数	人	
⇒	ウ		
⇒		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位	
⇒	A 文化にあふれるまちと感ずる市民の割合	%	
	イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		2,000	2,500				
	一般財源	千円	2,500	500	0	2,500	2,500	2,500		
	事業費計(A)	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	182	182	182	182	182	182	0
(A)+(B)		千円	2,682	2,682	2,682	2,682	2,682	2,682	0	
活動指標		A	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	イ	回	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	ウ									
対象指標	A	人	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
	イ	人	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
	ウ									
成果指標	A	人	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0		
	イ	人	230.0	230.0	230.0	230.0	230.0	230.0		
	ウ									
上位成果指標	A	%	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0		
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前、旧町村時代から長く行ってきた事業である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	伝統文化の保存・継承事業であり、状況の変化はあまりない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	基礎講座の受講者について固定化している感があるので新たな参加者の開拓が課題なのではとの意見。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	小笠原礼法について、一般の特に関心のある方のみでなく、教育の現場にも生かせるような取り組みに協力してもらった。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	平成25年度からは、小笠原流礼法を市内の小中学校の授業に取り入れており、地元で活躍している師範が講師となっている。

事務事業名	小笠原長清公顕彰会活動支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 伝統文化の保存・継承に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域文化が失われないために市が関与するのは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 伝統文化の保存・継承のためには適切である。流鏝馬事業継続の必要性を検証していく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 会員の増加に努め、講座等の周知を図り、市民に伝統文化を広げてもらいたい。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域文化の保存・継承が危ぶまれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域文化の保存・継承が危ぶまれる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年々補助金の削減が行われており、これ以上はなかなか難しい。流鏝馬の見直しにより、削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状でも最低限の人件費である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 伝統文化を保存するためには保存会という受益者に補助金が偏っても仕方がない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市長マニフェストに「小笠原流礼法の積極的な活用」が盛り込まれており、礼法関連の活動を活性化し会員の獲得、礼法普及活動の中心となって活動しており、今後も更なる活躍が期待される。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 礼法普及活動の強化																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 流鏝馬からの意識改革	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					